

つなげる創生 とちぎの未来

自民党の覚悟

「とちぎ自民党政策集」



自民党栃木県連

政策パンフレット

このパンフレットは、政党の自由な政治活動であって選挙期間中でも自由に配布できます。

自民党の覚悟

～つなげる創生 とちぎの未来～

目次

- はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・2P
- 教育・子育て・・・・・・・・・・・・3P
- 安全・安心・・・・・・・・・・・・4P
- 医療・福祉・・・・・・・・・・・・5P
- 景気・雇用・・・・・・・・・・・・6P
- 農業・林業・・・・・・・・・・・・7P
- 観光・・・・・・・・・・・・・・8P
- 環境・エネルギー・・・・・・・・9P
- 行財政・・・・・・・・・・・・・・10P



はじめに

地方創生の本格始動と言われている今年度に、県の予算・政策に強い使命感を持って取り組んでいる、県議会最大会派の「とちぎ自民党」が、これからの輝くとちぎを目指して、我々の覚悟を表したとちぎ自民党政策集『自民党の覚悟』～つなげる創生・とちぎの未来～を作成いたしました。

道半ばであるアベノミクスが、これからも前進し続け、本県が多くのの人から「選ばれらるとちぎ」となるよう、また、県民の皆様が「住んで良かったとちぎ」を感じられるよう、邁進してまいりますので、これからもご支援ご支持を賜りますようお願い申し上げます。



教育 子育て

- とちぎっ子の学力の向上と教育の充実
- 幼児教育の負担軽減
- 奨学金制度の充実

とちぎの財産は「人」。しかし、基礎学力を上げることや「人を思いやる」教育など、取り組む課題は山積している。そして、本県の活力の源となるのも「人」。人口減少に立ち向かうための子育て環境の充実を着実に進める。

〈教育〉

- ・全国上位の学力・体力をつける教育の推進
- ・35人学級の推進
- ・返還免除型等奨学金制度の充実
- ・心を育む道德教育の推進



〈子育て〉

- ・こども医療費助成制度の充実
- ・幼児教育無償化の拡大
- ・保育の質の向上と待機児童ゼロへの取組
- ・一時預かりや病児病後児保育の充実



安全 安心

- 大規模・突発的な自然災害に強い
県土づくり
- 全国一犯罪・交通事故の少ない
とちぎづくり

5年前の東日本大震災、今回の熊本地震を踏まえ、防災減災対策をさらに推進するとともに、地域における見守りの充実、交通安全施設等の充実を図る。

〈防災・減災〉

- ・災害危険箇所の解消のための公共事業の推進
- ・自主防災組織の充実と学校における防災教育及び訓練の充実
- ・公共的避難所等の耐震化の推進



〈暮らし・安全〉

- ・交通事故多発地点・事故危険箇所の早期解消
- ・高輝度標識・標示等の交通安全施設の更なる充実
- ・防犯カメラ等の新たな犯罪対策の充実
- ・小さな拠点の形成



医療 福祉

- 地域包括ケアシステム
“とちぎモデル”の確立
- 健康長寿日本一とちぎの実現

高齢化と人口減少が同時に進む中、在宅介護の充実と医療・介護の連携は不可欠。本県に合ったシステムづくりと同時に、障がい者が住みやすい環境をつくる。

〈医療〉

- ・独立法人とちぎがんセンターの機能充実
- ・とちぎ地域医療支援センターを核とした医師、看護職員の確保
- ・健診やレセプトデータ等の医療情報を活用したデータヘルスの推進

〈福祉〉

- ・生きがいくりによる、健康長寿とちぎの実現
- ・グループホームや居宅サービスの充実による障害者の自立支援
- ・認知症への理解促進と早期発見・早期治療の体制整備



景気 雇用

- 中小・小規模企業への支援強化
- 企業誘致による雇用の創出と雇用のミスマッチの解消

首都圏に近く、交通アクセスが充実している本県に多くの企業を呼び込み、若者の就業の場をつくとともに、福祉・建設分野などの人材不足を解消し、若者・女性の流出にストップをかけ、とちぎの活力をアップさせる。

〈景気・雇用〉

- ・女性の職業能力開発等による女性活躍の推進
- ・とちぎジョブモールの活用等による若年者雇用の促進
- ・とちぎ生涯現役シニア応援センターを通じた高齢者の就労支援
- ・「とちぎ地域企業応援ネットワーク」を活用した中小・小規模企業支援
- ・オール栃木体制での戦略的な産業団地造成と企業誘致の促進



農業 林業

- 農林業における新規就業者の確保
- 国際競争を勝ち抜き持続可能な農林業への支援

合意に至った TPP や国内の地域間競争を見据え、若者や意欲ある農林業者が夢と希望を有する農林業新時代に向けた取り組みを加速化させる。

〈農業〉

- ・園芸の戦略的拡大による競争力の強化
- ・青年就農者給付金等を活用した意欲ある新規就農者の確保
- ・畜産クラスター事業等を活用した強いとちぎの畜産づくり
- ・女性就農者への支援拡大とユニバーサル農業の推進
- ・本県農産物の輸出拡大

〈林業〉

- ・「とちぎの元気な森づくり県民税」の継続
- ・鳥獣保護管理計画の着実な実行による獣害対策の推進
- ・県産材の公共施設・住宅等への利用促進
- ・直交集成材（CLT）等新たな木材需要の創出と本県木材のブランド化及び輸出拡大



観光

- 東京オリンピック・パラリンピック、栃木の国体を見据えた観光産業の育成支援
- 「Destiny」キャンペーンを最大限に活用した観光振興

平成 30 年の DC（※1）の本県開催が決定し、県全体の観光力を一気に高める好機がやってきた。同時に東京オリンピック・パラリンピックや政策のクールジャパンに乗り遅れないよう、外国人観光客誘致に全力で取り組む。

〈観光〉

- ・これからの 5 年間で外国人宿泊数を 2 倍にするためのとちぎ版 DMO（※2）の形成
- ・観光地における Wi-Fi 環境の整備
- ・周遊パスポート事業の拡大と北関東三県の連携による海外プロモーションの展開

- ※1 DC JR グループ 6 社と地域が共同で取り組む国内最大の観光キャンペーン
- ※2 DMO 様々な地域資源を組み合わせた一体的な観光地づくりを推進する主体



環境 エネルギー

- 県民総ぐるみで取り組む「環境立県とちぎ」の推進
- とちぎエネルギー戦略による電力自給率の拡大

県土の55%が森林におおわれる本県は、産業の発展を期すると同時に、かけがえのない自然を次世代に引き継ぐ取り組みを継続強化してゆかなければならない。県民総意に基づく環境・エネルギー対策をさらに前進させる。

〈環境・エネルギー〉

- ・ CO²の吸収源である森林を守るため「とちぎの元気な森づくり県民税」の継続・充実
- ・ 太陽光、水力、バイオマス、地中熱、温泉熱等による再生可能エネルギーの地産地消の推進
- ・ 環境学習・エコツーリズムの取り組み強化
- ・ 県営馬頭最終処分場の早期整備
- ・ 指定廃棄物問題の早期解決



行財政

- 今後老朽化してゆく公共施設の長寿命化や維持修繕計画の策定による無駄のない行財政運営の展開

本県の道路・橋・トンネル・公共施設・学校等は、昭和40年代から50年代に造られたものが多数あり、今後その維持修繕あるいは更新に多額の費用が発生し県財政を圧迫することが懸念される。

今、しっかりとした計画を立案しすべての公共施設を点検し、適正な行財政運営ができるよう対応する。

〈今後築50年を迎える公共施設〉

(H27.5.1現在)
県管理

	現在	10年後	20年後
橋 梁	883	1,438	1,755
トンネル	3	10	19
学 校	166	614	1,195

(学校：校舎・体育館・武道場等含む)



「国に届け」



18歳選挙、始まります。
日本には若い力が必要です。

とちぎ自民党

自由民主党 栃木県支部連合会

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町 1-22
TEL.028-622-4100 FAX.028-622-3400
<http://www.tochigi-jimin.com>



栃木県連
QRコード